

経営比較分析表（令和2年度決算）

滋賀県 甲良町

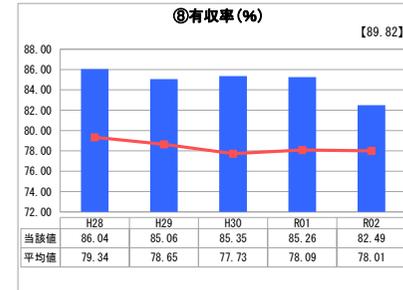
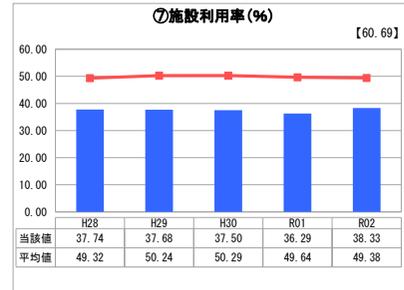
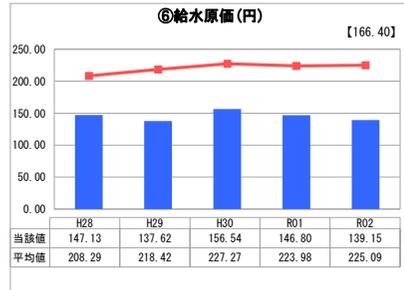
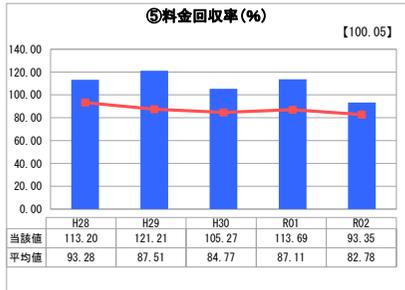
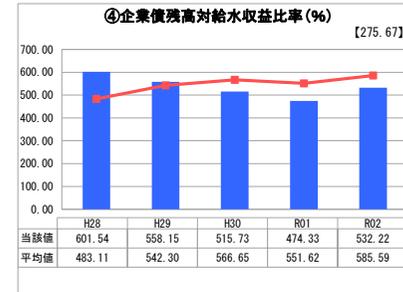
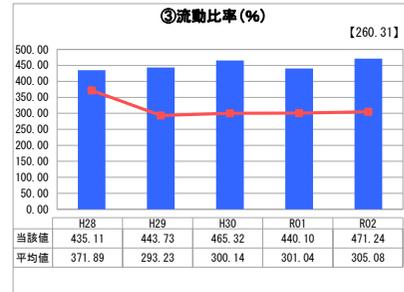
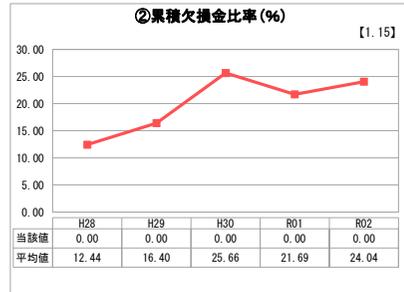
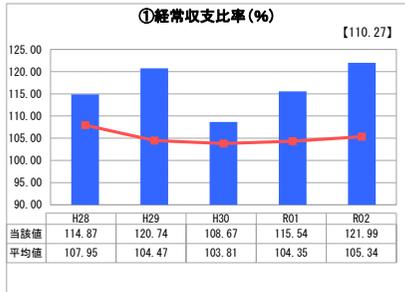
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	74.72	100.00	3,300	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,788	13.63	498.02
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
6,749	13.66	494.07

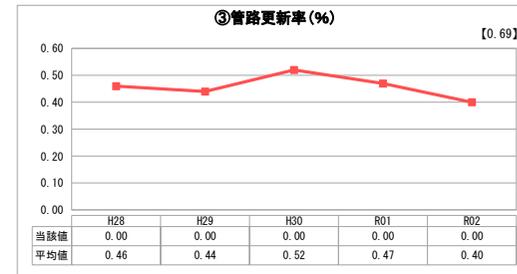
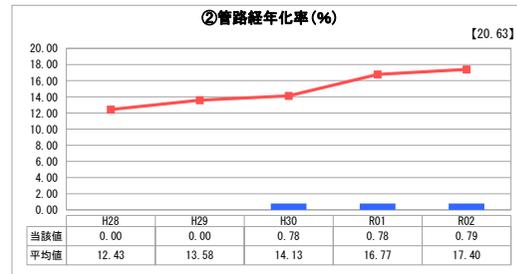
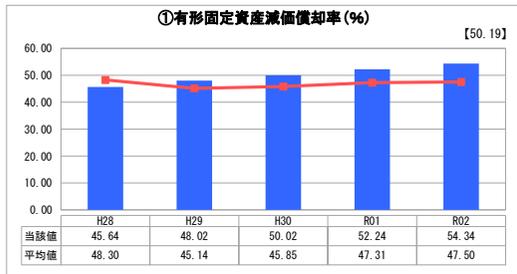
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率や流動比率などの指数については、全国平均を上回っており、健全である。企業債対給水集積比率と料金回収率については少し悪化しているが、これは令和2年度にコロナ対策として基本料金を減免し、同額の国庫補助を受けたことによるものであり、一時的なものである（令和3年度についても同様の見込み）。ただし、施設利用率、有収率が全国平均を下回っていることが恒常化しているため、それぞれ広域化の検討、漏水対策を進める必要があると考えている。

2. 老朽化の状況について

本町水道事業において、本管については、公共下水道の面整備に合わせて布設替え工事を実施したことから、現時点では老朽化は進んでいないが、今後耐用年数を越える管が増加することから、更新を計画的に行う必要がある。

全体総括

現状本町水道事業の運営については安定しているが、今後の人口減少による給水収益の低下、管路の老朽化による更新費用の確保を考えると、資本の確保を確実にしていく必要がある。